

日本臨床工学技士会会員の皆様へ

(公社)日本臨床工学技士会
理事長 本間 崇
調査・統計委員会
委員長 石井 宣大
担当理事 五十嵐 茂幸

業務実態報告 2025 業務の“見えない負担”、見える化しませんか？

～あなたの声が未来のスタンダードになる～

日頃より、日本臨床工学技士会の活動に対してご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、今年も「臨床工学技士の業務実態報告」の季節がやってきました。この調査は、皆さんの貴重な経験と意見を基に、臨床工学の現状を把握し、より良い未来に向けて改善していくための重要な取り組みです。

- ・ ルーチンのような過酷な勤務、主業務以外の雑務に追われる。
- ・ 臨床工学技士の“見えない負担”は、数字にしないと伝わりません。
- ・ それを「見える化」するのが、この業務実態報告です。
- ・ あなたの声が、現場を動かす起点になります。

アンケートは、会員システム e-プリバド内で簡単に行えます。ご自身の経験や意見を率直に教えてください。ご回答いただくと会員システム内に記録として残ります。答えにくい設問は任意回答にするなど配慮を進めてまいります。また、個人情報や得られた回答は、安全に配慮し適切に管理することを徹底いたします。

皆さんのご協力がなければ、この報告は成功しません。未来の臨床工学技士のために、ぜひご協力をお願いいたします。

【調査の概要】

調査名: 臨床工学技士の業務実態報告 2025

目的: 臨床工学技士の業務状況を把握し、今後の課題解決に繋げる

対象: 全正会員

報告期間: 2025 年 10 月 1 日～2025 年 10 月 31 日

方法: 会員システム e-プリバド内のアンケート

問い合わせ先: 公益社団法人日本臨床工学技士会

